【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成24年4月26日(2012.4.26)

【公開番号】特開2010-217693(P2010-217693A)
【公開日】平成22年9月30日(2010.9.30)
【年通号数】公開・登録公報2010-039
【出願番号】特願2009-66207(P2009-66207)
【国際特許分類】
*Ｇ０２Ｂ　6/44　(2006.01)*
*Ｇ０２Ｂ　6/00　(2006.01)*
【ＦＩ】
Ｇ０２Ｂ　6/44　３７１
Ｇ０２Ｂ　6/00　３３６

【手続補正書】
【提出日】平成24年3月8日(2012.3.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
軸線直交方向の断面に複数の隔壁を有する長尺のスロットと、前記複数の隔壁で区切られて前記スロットの長手方向に形成された光ファイバ収納部と、該光ファイバ収納部に収納された複数の光ファイバと、を外被で覆った光ファイバケーブルの中間部で前記光ファイバを分岐する光ファイバケーブルの分岐方法であって、
前記外被の円周方向の一部分を剥ぎ取り、
前記光ファイバの少なくとも一本を取り出し、
該取り出した光ファイバと前記光ファイバケーブルとは異なる他の光ファイバケーブルを接続することを特徴とする光ファイバケーブルの分岐方法。
【請求項２】
請求項１記載の光ファイバケーブルの分岐方法であって、
第一の隔壁先端部近傍の外被と、隣接する第二の隔壁先端部近傍の外被を長手方向に切り取り、
第一の隔壁と第二の隔壁で挟まれた部分の外被を剥ぎ取ることを特徴とする光ファイバケーブルの分岐方法。
【請求項３】
請求項２記載の光ファイバケーブルの分岐方法であって、
前記隔壁先端部近傍の外被を、前記隔壁の先端部の位置に対応させて該外被外面に設けた隔壁認識手段を目安に切り取ることを特徴とする光ファイバケーブルの分岐方法。
【請求項４】
請求項１～請求項３のいずれか１項記載の光ファイバケーブルの分岐方法であって、
前記光ファイバと前記他の光ファイバケーブルを接続した後、円周方向の一部分を剥ぎ取った外被部分の周囲と、前記光ファイバケーブル及び前記他の光ファイバケーブルの接続部と、を保護材で覆い、且つ該保護材を前記光ファイバケーブルに固定することを特徴とする光ファイバケーブルの分岐方法。
【請求項５】
請求項１～請求項４のいずれか１項記載の光ファイバケーブルの分岐方法であって、

前記光ファイバと前記他の光ファイバケーブルを、メカニカルスプライスで接続することを特徴とする光ファイバケーブルの分岐方法。
【請求項６】
軸線直交方向の断面に複数の隔壁を有する長尺のスロットと、
前記複数の隔壁で区切られて前記スロットの長手方向に形成された光ファイバ収納部と、
該光ファイバ収納部に収納された複数の光ファイバと、
前記収納部に充填された抗張力繊維と、
前記スロットの外周を覆う外被と、
を具備したことを特徴とする光ファイバケーブル。
【請求項７】
請求項６記載の光ファイバケーブルであって、
前記隔壁の先端部が、前記断面内において、前記外被の内接円よりも半径方向外側に突出していることを特徴とする光ファイバケーブル。
【請求項８】
請求項６又は請求項７記載の光ファイバケーブルであって、
前記断面内において、前記隔壁先端部が、前記光ファイバ収納部の数の二倍と同数若しくはそれ以上の数に分岐されていることを特徴とする光ファイバケーブル。
【請求項９】
請求項６～請求項８のいずれか１項記載の光ファイバケーブルであって、
前記隔壁の先端部の位置に対応する前記外被外面に隔壁認識手段が設けられたことを特徴とする光ファイバケーブル。
【請求項１０】
請求項９記載の光ファイバケーブルであって、
前記複数の隔壁ごとに異なる前記隔壁認識手段が設けられたことを特徴とする光ファイバケーブル。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
本発明に係る上記目的は、下記構成により達成される。
（１）　軸線直交方向の断面に複数の隔壁を有する長尺のスロットと、前記複数の隔壁で区切られて前記スロットの長手方向に形成された光ファイバ収納部と、該光ファイバ収納部に収納された複数の光ファイバと、を外被で覆った光ファイバケーブルの中間部で前記光ファイバを分岐する光ファイバケーブルの分岐方法であって、
前記外被の円周方向の一部分を剥ぎ取り、
前記光ファイバの少なくとも一本を取り出し、
該取り出した光ファイバと前記光ファイバケーブルとは異なる他の光ファイバケーブルを接続することを特徴とする光ファイバケーブルの分岐方法。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
（４）　（１）～（３）のいずれか１つの光ファイバケーブルの分岐方法であって、
前記光ファイバと前記他の光ファイバケーブルを接続した後、円周方向の一部分を剥ぎ取った外被部分の周囲と、前記光ファイバケーブル及び前記他の光ファイバケーブルの接

続部と、を保護材で覆い、且つ該保護材を前記光ファイバケーブルに固定することを特徴とする光ファイバケーブルの分岐方法。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１６】
（５）　（１）～（４）のいずれか１つの光ファイバケーブルの分岐方法であって、
　前記光ファイバと前記他の光ファイバケーブルを、メカニカルスプライスで接続することを特徴とする光ファイバケーブルの分岐方法。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１７】
　この光ファイバケーブルの分岐方法によれば、メカニカルスプライスにより光ファイバと他の光ファイバケーブルが容易に軸合わせされて、永久接続が可能となる。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２８】
　本発明に係る光ファイバケーブルの分岐方法によれば、外被の円周方向の一部分を剥ぎ取り、光ファイバの少なくとも一本を取り出し、取り出した光ファイバと他の光ファイバケーブルを接続するので、ケーブル円周方向の外被を全て剥ぎ取る従来方法に比べ、剥ぎ取り作業が容易になるとともに、接続対象外の心線の養生作業が不要となる。この結果、光ファイバケーブルの分岐作業性を大幅に向上させることができる。